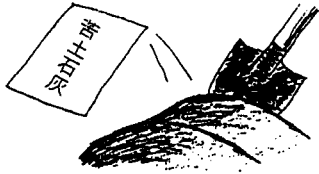
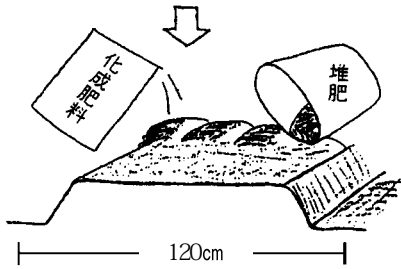


①畑の準備

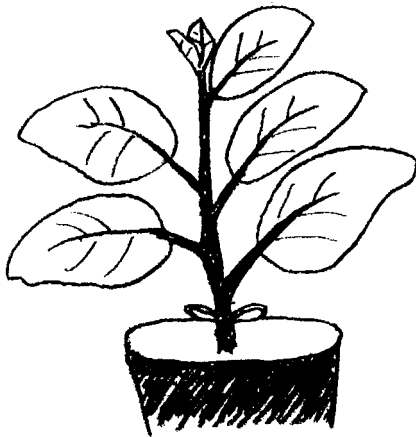


は種10日前に10㎡あたり苦土石灰1.2kgを施しよく耕します。



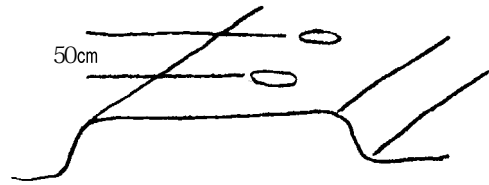
基肥として10㎡あたり堆肥40kgと化成肥料1kgを施し120cm程度のうねを作ります。

②購入苗の利用



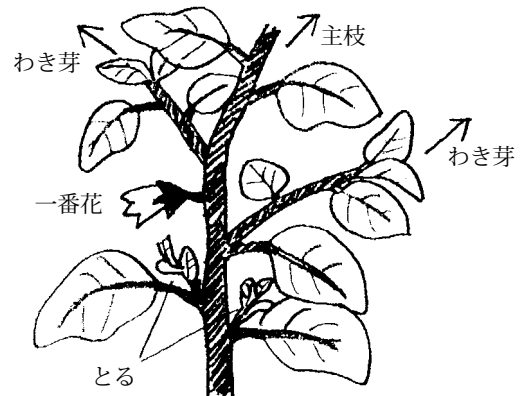
葉が厚く、茎が太く節間がつまっている、がっしりとした苗がよい苗です

③植えつけ



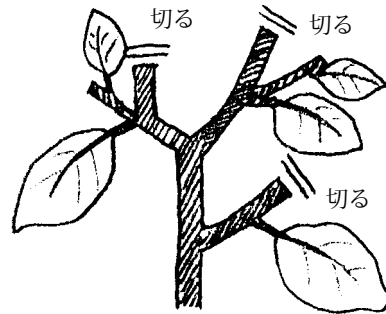
5月上旬に株間50cmで植えつけます

④3本仕立て



1番花のすぐ上か下から出るわき芽を伸ばし3本仕立てにします

⑤切り返し剪定



夏に株が衰えたときは7月下旬～8月上旬に枝や葉を短く切ります(切り返し剪定)

今月植える(まく)野菜	今月収穫できる野菜
スイカ、マクワウリ、ナス、ササゲ、シロウリ、スイートコーン、オクラ、ネギ、サツマイモ、カボチャ、ピーマン、インゲン、シソ、サトイモ、キュウリ、トマト、ショウガなど	イチゴ、キャベツ、サラダナ、ゴボウ、エンドウ、タマネギ、ワケギ、ソラマメ、タイサイ、バレイショ、アスパラガス、フキ、パセリなど

楽しい家庭菜園

県農業試験場
黒川 領太

ナス

インド原産のナス科の植物。熱帯では多年生ですが日本では一年生草本です。

栽培は古く日本でも奈良時代にはすでに、栽培されていたという記録があります。

いろいろな用途で使用できるポピュラーな野菜の一つです。

栽培のポイント

連作に弱いので、ナス科の野菜（トマト、トウガラシ、ジャガイモなど）を作った場所には最低三年は栽培しないようにします。
乾燥に弱く、乾燥すると生育がや果実の色つやが悪くなるため、夏の乾燥に気をつけましょう。

家庭菜園向き品種

品種がたくさんありますが家庭菜園には千両二号「黒陽」などといった品種がよいでしょう。
また、地方品種で「三豊ナス」といった品種もあります。

畑の準備

植えつけ一〇日前に一〇㎡当たり苦土石灰一・二kgを施し、よく耕します。
基肥として一〇㎡当たり堆肥四〇kgと化成肥料一kgを施し、幅二二〇cmのうねを作ります。

購入苗の利用

家庭菜園の場合、購入苗を利用するとよいでしょう。また、接ぎ木苗は土壌病害に強いので作りやすくなります。

よい苗を選ぶポイントは、葉が厚い、茎が太く節間が詰まっている、全体にがっしりしているといった点です。

植えつけ

遅霜の心配がなくなる五月上旬に株間五〇cmで植えつけ、十分にかん水します。
一番花が開花する直前の苗が植えつけ適期となります。

植えつけ後の管理

植えつけ後、支柱を立て誘引します。
追肥は一番果収穫後に始め、その後二〇日ごとに一〇㎡当たり化成肥料を三〇〇g施し肥切れさせないようにします。

整枝は、主枝と一番花の着いたすぐ下から出る元気なわき芽二本を残し、三本仕立てにします。
夏に元気がなくなったり、秋まで収穫を続けたいときは、七月下旬～八月上旬に切り返し剪定を行うと新しい枝にやわらかい果実着きます。剪定後は追肥を行います。

作型	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主要品種	適応地帯
普通		○	-----	△	—————	▨	▨	▨	▨	▨	▨		千両二号 三豊ナス	一般